

組織名	青森公立大学地域連携センター
-----	----------------

1 組織概要

所在地	〒030-0196 青森県青森市合子沢字山崎153-4
TEL	017-764-1561
FAX	017-764-1564
URL	http://www.nebuta.ac.jp/chiken/
e-mail	chiken@b.nebuta.ac.jp
設立	2011年4月1日
設置都市等	公立大学法人 青森公立大学
代表者	香取 薫(センター長/青森公立大学長 ※兼務)

2 組織動向

(1) 沿革	
設置経緯	1998年、青森公立大学の附置研究機関として地域研究センターが開設された。その後、大学法人化に伴い組織の変更があり、2011年4月に新たに地域連携センターが設立され、地域研究センターは地域連携センターの下部組織となった。
見直しの動向	2005年度より、活動をより一層、組織的に展開するとともに、「研究」「教育」「コンサルテーション」「インキュベーション」の4つを事業活動の柱とし、活動基盤の整備および展開に着手した。これに伴い、事業活動をさらに展開していくとともに、外部関係機関とのプロジェクト、市民との共同研究や事業の企画、実施を進めている。
役割(2016年時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究…広域的な地域研究の拠点、市民・企業・行政との共同研究の場となる。 ○ 教育…地域社会の幅広い年齢層や職業の方々の学びに貢献する(講演会、公開講座)。 ○ コンサルテーション…地域の諸活動(自治体、企業)への情報提供や助言活動を行う。 ○ インキュベーション…地域社会事業や活動に対し、多角的な視点から支援、協力する。
(2) 組織体制	
設置形態(択一)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 1 自治体の内部組織 <input type="radio"/> 2 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="radio"/> 3 公益法人(財団法人・社団法人) <input checked="" type="radio"/> 4 大学の附置機関 <input type="radio"/> 5 広域連合 <input type="radio"/> 6 その他(具体的に:)
常勤職員数	5人
うち常勤研究員数	2人
非常勤研究員数	0人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1 専門的な知識を有した研究員の採用 <input type="checkbox"/> 2 外部有識者の活用(1を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 3 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 4 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 5 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 6 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 7 特に行っていない
庶務体制	研究所内で事務局員(大学本部と兼務)が担当している
市民参加、外部連携	特に行っていない

(3)会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2016年度予算	17,670 千円	
2015年度決算	14,036 千円	
2014年度決算	16,510 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	1. 補助金等収入
	2位	7. その他(具体的に:授業料等収入)
	3位	7. その他(具体的に:目的積立金取崩収入)
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	

3 活動動向

(1)活動実績		
	調査研究名 (国の法令により義務づけられている調査で、自治体の政策の形成や問題の解決のために活用しないものは除く)	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)
2016年度に実施した調査研究 (1件につき1行で記入してください。)	地域コンテンツ配信端末の実装に関する調査、研究Ⅳ	
	地域文化教育に関する情報発信～青森県の人材(人財)養成～	
	「地域創生」時代における地域経営・自治体経営の戦略的プロジェクト	
	日本における留学形態の変遷と傾向およびパラダイムシフトに関する有効性の研究	
	青森の魅力を世界に発信-青森県中学生の英語リーディング能力と情報発信力の向上を図る青森を題材にした英語リーディング教材の開発に関する研究-	
	佐々木多門が英紙ザ・タイムズに寄稿した記事の特定を試みる研究	
	青森ねぶた運行団体の歴史と今後の可能性	

過去3年間の研究実績 (成果物ベース)	<p><2015年度> 【自主事業】 ○地域コンテンツ配信端末の実装に関する調査、研究Ⅲ ○地域文化教育に関する情報発信～青森県の人材(人財)養成～ ○地域研究センター情報発信事業 ○地域経営・リスクマネジメント戦略～「幸せと生きがい」の地域社会形成 ○観光行政のイノベーション～米国、台湾、インドネシア他アジア諸国との国際的協働から～ ○地域活性化の「主体」をめぐる比較言語・文化・社会学的考察Ⅱ ○日本の大学における留学交流支援制度とその有効性に関する研究 ○青森県中学生の英語ライティング能力とライティング不安及び中学校英語教員のライティング指導不安に関する調査研究 ○平内町出身の英文筆家佐々木多門をテーマにした英語科リーディング教材の開発に関する研究Ⅱ</p> <p><受託事業> ○あじがさわテキスト監修事業</p> <p><受託研究> ○コミュニティビジネス支援事業に係る各種調査・研究 ○情報リテラシー教育におけるナレローの効果測定及びレビュー</p>
	<p><2014年度> 【自主事業】 ○地域コンテンツ配信端末の実装に関する調査、研究Ⅱ ○地域文化教育に関する情報発信～青森県の人材(人財)養成～ ○地域研究センター情報発信事業 ○eガバナンス・地域ビジネスモデルの創造～アプリ活用の地域活性化ネットワーク戦略～ ○ストーリーとしての地域づくり協働戦略の研究～米国、アジア諸国等における国際的実践を踏まえて～ ○自治体における原価計算システム及び監査システムの研究 ○地域活性化の「主体」をめぐる比較言語・文化・社会学的考察Ⅰ ○持続可能な鉄道と地域社会創造プロジェクト ○平内町出身の英文筆家佐々木多門をテーマにした英語科リーディング教材の開発に関する研究Ⅰ</p>
	<p><2013年度> 【自主事業】 ○地域コンテンツ配信端末の実装に関する調査、研究 ○地域文化教育に関する情報発信事業 ○地域ガバナンスの創造 ○パブリック・イノベーションの研究 ○自治体の経営会計システムの導入に関する研究 ○地域研究をめぐる言説に関する言語・文化・社会学的考察</p>
定期刊行物	地研ニューズレター(年3回発行)
(2) 活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 2 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 3 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 4 貴団体・組織で自ら発案(3を除く) <input type="checkbox"/> 5 その他(具体的に:)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 2 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input type="checkbox"/> 3 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input type="checkbox"/> 4 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 5 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する <input type="checkbox"/> 6 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 7 特に行ってない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 2 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 3 外部有識者から評価を受けている(2を除く) <input type="checkbox"/> 4 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> 5 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 6 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	メンバーは、学部、大学院の教員が兼務する兼任研究員および専任研究員、大学本部の総務企画チーム兼務の事務局員で構成されている。
研究員の専門性育成の手立て	
研究員のキャリアパス等	
その他	○当センターは青森公立大学大学院棟にあるが、専任研究員は青森駅前のアウガ6階「まちなかラボ」(多目的サテライト)や地域の現場で活動している。 ○当センターは「まちなかラボ」を足場に、公立大学と地域社会とを結び、地域のニーズに応えられるよう、研究活動だけでなく、各種教育や企業相談、起業支援を行い、地域の市民や団体、行政の活性化に貢献している。